

春の田んぼの観察会

『クリークは佐賀平野の里山』

佐賀平野の稲作文化とクリークについて考える『田んぼの観察会』第三弾

日時	4月22日(日) AM 8:00 ~ 11:00
集合場所	佐賀市大和町 ニコー大和店北側駐車場
観察会コース	大和町福島妙見神社 ~ 佐賀市旧ゴミ焼却場(往復周回)
参加者	おとな: 5名 子ども: 4名 (内自然観察指導員: 5名)
担当&レポート	増田 英治



地元福島の妙見神社でしばらく、佐賀平野とクリークの成立ち等について話などしている間、子供達は神社の濡れ縁で子供達だけの打ち合わせ。その様子は昭和の懐かしい映像を見るような雰囲気、田んぼの観察会にふさわしい挨拶の光景となりました。

春の田んぼは活力に満ちて、色とりどりの沢山の草花が田

んぼの中や、畦道、土手に咲いていて、クリークや池の中には、メダカをはじめ、すっぼんや、クサガメ、アカミミガメ、アメンボ等、ここでも色んな生き物の気配を感じる事が出来ました。

中でも、野鳥の活動が活発で、目を閉じるとヒバリを筆頭に十種前後の鳴き声を確認できました。田起しがはじまった田んぼではアマサギが、土の中からでてくる餌を競って、トラクターの後ろをくっついて歩きます。池の中の杭にはアオサギが置物のように



突っ立っていますし、サギ達のコロニーとなっているナンキンハゼの林では、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ等等、沢山のサギ達が巣を作って卵を温めています。

そんな卵を狙っているヤツがいて、どういう訳か、通路に一列に卵の殻落ちていました。営巣中の卵を、カラスが奪って、電線に止まって食べたのだらうと言うのが、私達の結論。さて真実の程は・・・。

上々の天気恵まれ、皆さんと一緒に楽しい時間を、春の田んぼの畦道や、クリークや池のほとりで過ごす事が出来ました。



背振山 山葵谷デイキャンプ

背振山の秘密の谷での冒険デイキャンプ

山の自然の中で大人と子供と一緒に、かまど作りから午後の時間を楽しむ自然体験

日時 4月22日(日) 11:30~16:00

観察会コース 山葵谷(仮称:詳細秘密)

参加者 おとな:4名 子ども:4名 (内自然観察指導員:4名)

担当&レポート 増田 英治

背振山某登山口より約20分、登山道より脇道に入り、チョッとだけヤブコギをして、秘密の地『山葵谷』へ入ります。ここは、急峻



な谷が三、四十年に崩壊して出来た谷の中の、モミジの大木が生えたちょっとした平地です。

そろそろみんなの腹の虫が限界に来る頃、取り敢えずレジャーシートを広げ、まずは食事の準備にかかります。かまどを作る場所

を探し、石を積み重ねて即席のかまどを二式作り、子供達が薪を集めます。一つのかまどは飯盒飯、三つの飯盒で、筍ご飯、シジミご飯、雑穀ご飯の三種類のご飯をを炊きます。もう一つのかまどでは、下

ごしらえをした具材を炊き込み豚汁を作ります。その間 イチゴとトマトを谷川の水で冷やしておきます。



ご飯はそれぞれ多少焦げたり、水の按配が多かったりはしますが、山の水で炊いたご飯は文句なしにうまいと感じます。食後に子

供達が取ってきたクマザサの葉で、笹茶を披露しましたが、これは若葉を用いたせいか、今一、味

と香が芳しくありませんでした。又、キャンプインストラクターのKさんからは、チョコレートフォンデュ等の食後の手作りデザートが紹介され、子供だけでなく大人も喝采でした。

山葵谷はワサビの他、サワギヨウ、チャルメルソウ、コガネネコノメソウ、ヨゴレネコノメ、ラショウモンカズラ、マルバコンロンソウ、フモトスミレ、ヤマドリソウ等等、草花好きの友人と一緒にいたらもう一歩も動けなくなってしまう状態でした。

